





## LB 新デザインのレターバスが運行を開始

市民の移動手段であるレターバスに新しい車両を導入しました。新車両のデザインは、遠くからでも分かるような黄色を採用し、視認性を高くしています。また、ノンステップのバリアフリー構造で、楽に乗り降りができるようになっています。

新車両は、12月から2か月間行なわれた夜間運行実証実験で運行を開始し、2月からは北ルートと南ルートで運行しています。



市ホームページ  
公共交通



## 県道大津植木線『辻久保バイパス』が全線開通

12月20日、県道大津植木線『辻久保バイパス』が全線開通しました。辻久保バイパスは、熊本県が合志市栄と野々島の間（約3.4km）で計画を進め、平成21年から工事が行なわれていました。平成30年12月には1工区（1.2km）が開通し、2工区（2.2km）の工事が完了したことで全線の通行が可能となりました。



開通式では、本市や国、県などの関係者がテープカットし通り初めをしました。

全線開通により、県道大津植木線と国道387号が交わる辻久保交差点での朝夕の交通渋滞の緩和などが期待されています。





## 認知症の人が安心して暮らせるまちへ ささえ愛ネットワーク模擬訓練2025

11月22日、合志市と市社会福祉協議会は、西合志中央小学校区で認知症により行方不明者が発生したことを想定した模擬訓練を実施しました。

30人の市民が参加し、ひとり歩きしている人への声のかけ方や通報の仕方について学んだほか、認知症高齢者等保護情報共有サービス『どこシル伝言板』の読み取りを体験しました。



## Jリーガーがやってきた！ ロアツソの選手が小学校訪問

12月8日、サッカー・ロアツソ熊本の選手3人が合志南小学校を訪問しました。これは、ロアツソによる地域貢献活動の一環で行なわれたもので、合志市内の学校への訪問は初めてです。

選手たちは子どもたちと一緒に給食を食べたり、昼休みに遊んだりして交流したほか、体育館での講話で、子どもの時のことやプロ選手として意識していること、これからの目標などを話しました。



## 防災に関する体制を整備 災害時の車両貸与で協定

12月16日、合志市は、スズキ株式会社および株式会社スズキ自販熊本と『災害時における車両貸与等に関する応援協定』を締結しました。

この協定は大規模災害時に軽商用車や外部給電機能を備えた電気自動車が無償で貸与してもらうもので、物資運搬や避難所などへの電源供給に使用します。本市は今後も防災に関する体制の構築を進めます。

## 「心肺蘇生を広めたい」ゲーム感覚で学ぶ作品開発

12月12日、熊本高専熊本キャンパスの『CPR BEAT 開発チーム』が市役所を訪れ、第36回全国高等専門学校プログラミングコンテスト（令和7年10月・島根県）の自由部門で最優秀賞などを受賞したことを報告しました。

自由部門は、プログラミングを使った、自由に独創的な作品を開発するものです。チームは「正しいリズムで心肺蘇生（CPR）を行なうことを身に付け、生存率を向上させたい」として、心肺蘇生法をリズムゲーム感覚で学んで身に付ける作品を開発しました。チームでは3月の『起業家甲子園』への出場や事業化に向けて、作品の改良を進めています。



熊本高専熊本キャンパス  
(合志市所在)

↑ 高専プロコンで『最優秀賞』

## 2チームが全国大会で好成績

高専ロボコンで『ロボコン大賞』 ↓

### チーム『強奪名星』ロボット製作・制御技術で高評価

1月22日、熊本高専熊本キャンパスチームの『強奪名星』が市役所を訪れ、高専ロボコン2025全国大会（令和7年11月・東京都）でのロボコン大賞の受賞や大会準優勝について報告しました。

大会の競技課題は、製作したロボットでボックス（箱）を積み上げてゲートを作り、それをくぐるというもので、ゲートの高さや、くぐる回数が得点となります。チームは惜しくも準優勝でしたが、今回の大会で最も高い、高さ4.2mのゲートを完成させて会場を沸かせました。その結果、アイデアや技術が高く評価され、大会優勝と同じく名誉あるロボコン大賞に輝きました。



## 令和8年2月27日 合志市誕生から20年



広報こうし令和8年2月号  
市制施行20周年

平成18年2月27日に熊本県内14番目の市として産声を上げた本市は、このたび市制施行から20年となりました。全国的に人口減少・少子高齢化が深刻化する中、人口が増加している自治体として注目されてきた中、誰もが安全・安心に、健康で幸福に暮らし続けることができる都市の実現に向け、次のステージへと歩みを進めます。

5月30日（土）には市制施行20周年記念式典を開催予定です。これからも合志市をよろしくお願いたします。



15周年記念式典（令和3年11月）



# 合志市と共に生まれ育ち20年 令和八年 二十歳を祝う会

1月11日、市総合体育館メインアリーナで『令和八年合志市二十歳を祝う会』を開催しました。今年は平成17年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた764人が二十歳を迎えます。



今年の式典は市制施行20周年を迎えたことから、二十歳を迎えた皆さんの歩みと本市の歴史を振り返る動画『20年の軌跡』の上映で幕を開けました。誓いの言葉では、二十歳を代表して丹羽恒斗さんが「私たちはこれまでの人生を振り返り、多くの人に支えられて今があることを実感しています。支えてくださった全ての人たちへの感謝を胸に、恵まれたこの環境を決して当たり前と思わず、自らの力で未来を切り拓き、社会に貢献していきます」と決意を話しました。



第2部では、中学時代の恩師たちが登壇し、お祝いのメッセージを贈りました。その後、市内の店舗・企業から協賛を受けてクイズ大会を行ない、解答者には景品が贈られ、会場は盛り上がりました。



市総合センター『ヴィーブル』のガラスに映った姿を撮影しようとする『二十歳を祝う会』の参加者の皆さん。会場では、久々に会った同級生と思い思いに記念写真を撮る様子が見られました。



合志市ホームページ



合志市公式X  
(旧Twitter)

発行 熊本県合志市企画課

